

募集

～教育の質向上を目指すICT利用～

2020年度 ICT利用による教育改善研究発表会（オンライン開催） 開催要項

この発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的として、平成5年より実施しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞を、またこれに次いで優れた発表に対しては協会賞等を授与し、その教育業績を顕彰します。

大学・短期大学では、アクティブ・ラーニング等による教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、個々の教員はもとより組織としてのFDへの取組み強化が課題となっています。

この発表会は、今後の教育活動に示唆を与えるものですので、大学教職員の皆様におかれましては発表会の重要性をご考察たまわり、奮って参加いただくことを希望します。

日 時：2020年（令和2）年8月25日（火）10：00～18：00

発表会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）東京都千代田区九段北 4-2-25

開催方法： 新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインによるテレビ会議室（Zoom 使用）といたします。なお、申込者には8月18日（火）にメールでテレビ会議室専用のURL、IDとパスワードをお知らせします。

主 催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省（予定）

【本発表会のねらい】

教員個人や大学・学部等組織レベルでのICTを利用した教育改善の取組みと効果を公表することで、アクティブ・ラーニング等による教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、教育の質向上に向けた課題の解決策を示唆することを目指しております。

参加対象 国公立大学・短期大学の教職員、賛助会員

参加費 加盟大学・短期大学、賛助会員： 8,500円（税込）

非加盟大学・短期大学： 17,000円（税込）

*発表者の参加費は不要です。発表要項をご覧ください。 <http://www.juce.jp/LINK/houhou/20houhou/20junbi.htm>

*当協会加盟校は右サイトで確認ください。 <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

本協会加盟校の参加者には、当日の発表スライド（許可が得られたもの）を後日閲覧できるようにします。

申込方法 Webからの申込み

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/20houhou/>

FAXでの申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

オンライン開催のため、申込者には事前に発表会資料集を郵送します。

確実にお届けできるように、各参加者はお受取り可能な送付先住所、メールアドレス、および

（緊急連絡用）電話番号をご記入ください。

※申込内容で当協会が取得する個人情報は、下記の目的により利用します。

「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、発表会資料集（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。送付先住所と電話番号は発表会開催後にデータを削除します。

申込締切り **令和2年8月18日（火）**

参加費振込 できるだけ8月18日（火）までにお振込み下さい。

一括申込みの場合：振込依頼人名には、大学名の他にキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名と氏名の両方を必ず入れて下さい。

振込先 りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*お申し込み後のキャンセルは8月17日（月）まで受付し、お支払いされた参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。

* **8月18日（火）にテレビ会議室専用のURL、IDとパスワードをお送りした後のキャンセルはできません。この場合、参加費の返金は致しませんのでご了承ください。**

送付・問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 E-mail: info@juce.jp（問い合わせ用）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL：03-3261-2798／FAX：03-3261-5473

2020年度ICT利用による教育改善研究発表会 発表一覧(38件)

- *発表は2会場に分かれて行います。
 *各会場は当日の案内表示にて確認ください。
 *研究発表者名は発表代表者を掲載しています。

(敬称略)

	時間	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名
A 教育・人文科学・分野横断系(S・D・Gを含む)・幼児中等その他	10:00	A-1	保育実習の質向上を目指したアセスメント・システムの開発	尾崎 司	東京家政大学
	10:20	A-2	「主体的・対話的で深い学び」を目指したタブレット型議論支援ツールの教育効果	大谷 千恵	玉川大学
	10:40	A-3	保育科学生を対象としたピアノの即興演奏向上のためのICT活用と双方向型授業の検討	仲条 幸一	つくば国際短期大学
	11:00	休 憩			
	11:10	A-4	「会員制キャリア形成プロジェクトサイト」による主体的・協働的な学びの促進	庄司 一也	帝京平成大学
	11:30	A-5	RPG型WEBアプリケーションを用いたアクティブラーニング手法の開発	山脇 香織	淑徳大学
	11:50	A-6	オンライン授業の活用による大規模授業の革新と学生の参加意識、理解度、満足度の向上	杉山 章	相模女子大学
	12:10	休 憩			
	13:10	A-7	学生と創る遠隔授業～新型コロナウイルス感染症への対策を通じて～	矢尾板 俊平	淑徳大学
	13:30	A-8	WEB会議システムを活用したオンライン授業導入による緊急時の即応の実践と教育効果	小泉 京美	相模女子大学
	13:50	A-9	オンライン授業におけるZoomによる効果的なグループディスカッション	フロレスク コスミン	国際医療福祉大学
	14:10	休 憩			
	14:20	A-10	ICT教育を用いた他文化理解教育の取り組み	南雲 まき	金沢学院大学
	14:40	A-11	体育系大学のダンス実技におけるICTを活用した運動観察力を高める授業実践	梶 ちか子	鹿屋体育大学
	15:00	A-12	対人コミュニケーションが求められるリーダーシップをオンライン型授業で育む教育実践	田上 正範	追手門学院大学
	15:20	休 憩			
	15:30	A-13	小学校教育におけるデジタル教材の開発～まちを映像保存化する取り組みを通して	岡野 聡子	奈良学園大学
	15:50	A-14	地域共創型の課題解決学習(PBL)授業支援プロジェクト	香川 治美	九州産業大学
	16:10	A-15	地域企業、行政と協力した学生による地域還元型資料の作成とその公表	奥村 実樹	金沢星稜大学
	16:30	休 憩			
B 初・次教育系・情報基礎・情報専門・理学・工学・農学・生活家政・医療・データサイエ	16:40	A-16	Googleフォームを援用したマイクロティーチングの振り返りの取り組みと成果	佐藤 剛	弘前大学
	17:00	A-17	完全オンライン環境下における反転授業の実践	木本 圭一	関西学院大学
	17:20	A-18	ポストコロナ時代の大学教育における対面・遠隔授業のブレンディッドラーニングの展望	水野 義之	京都女子大学
	17:40	A-19	留学生の非語学系教員による作文能力向上支援のための授業実践	藤本 孝一郎	城西短期大学
	10:00	B-1	クラウドベースの脳科学入門演習における15分活動積上による自律的能動的学修の促進	中村 太戯留	武蔵野大学
	10:20	B-2	アクティブ・ラーニング実現のためのオンライン授業における教師の協働	加納 なおみ	國學院大学
	10:40	B-3	学習者の自発的気づきおよび主体的学びを誘発するICTを活用したライティング指導	和田 朋子	工学院大学
	11:00	休 憩			
	11:10	B-4	掲示板を利用した「振り返り」の可能性:見守り, 客観視, 自主性とメタ認知の関係から	中尾 桂子	大妻女子大学
	11:30	B-5	コロナウィルスの影響に伴う土木工学科物理学の教育について	安田 陽一	日本大学
	11:50	B-6	ICTを利用した教育システムにおける徒弟制度の導入による教育改善	小林 志好	東京都市大学
	12:10	休 憩			
	13:10	B-7	サーバーの落ちない遠隔授業方式の成功例～100MBまで朝8時まで～	蒲池 みゆき	工学院大学
	13:30	B-8	基礎化学実験の LMS を活用したオンライン化の試み	永井 義隆	明治大学
	13:50	B-9	リアルタイム・メンタリング式e-ラーニングによるプログラミング教育	桑原 恒夫	神奈川大学
	14:10	休 憩			
	14:20	B-10	初年次教育におけるeポートフォリオ「今週の活動とトップニュース」の活用と初期成果	藤本 元啓	崇城大学
	14:40	B-11	オンライン見学者も参加した、複数授業担当者によるオンライン授業の意義	筒井 洋一	京都工芸繊維大学
	15:00	B-12	小論文作成過程のCloud共有と双方向遠隔授業システムによる個別学修の展開	小松 泰信	大阪女学院大学
	15:20	休 憩			
	15:30	B-13	数理基礎科目のビデオ配信による学生の学習活動の深化と教育効果の評価	西 誠	金沢工業大学
	15:50	B-14	緊急事態宣言下におけるICTを活用した双方向型オンライン授業への取り組みについて	治京 玉記	大阪夕陽丘学園短期大学
	16:10	B-15	ICTを活用した物理化学の反転授業による学習効果の大幅改善	宮本 秀一	崇城大学
	16:30	休 憩			
	16:40	B-16	実習系科目における「高次技能習得型」反転授業の成果と課題	緒方 泉	九州産業大学
	17:00	B-17	クラウドを活用したシームレスなサポート組織によるオンライン授業運営体制の構築	松岡 東香	筑波学院大学
	17:20	B-18	大規模授業における学習者の主体性を引き出すコミュニケーションシステムの構築と評価	福本 壘	長岡造形大学
	17:40	B-19	医療系学部における数理・データサイエンス教育の実践と教育改善効果の検証	二瓶 裕之	北海道医療大学